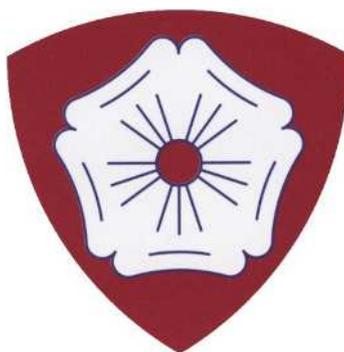


2019（平成31）年度

事業計画書

2019（平成31）年4月 1日より

2020（平成32）年3月31日まで



学校法人 九州ルーテル学院

目 次

・学院基本方針	1
・教学計画	
大学事業計画	2
大学付属黒髪乳児保育園事業計画	4
中学・高等学校事業計画	6
認定こども園事業計画	7
・法人運営計画	10
・部署別目標一覧	13
・学院組織図	18
・法人組織	19
・教職員組織	20
・園児、生徒、学生数	21
・年間行事予定	22

2019 年度 学院基本方針

九州ルーテル学院は、1926 年、日本福音ルーテル教会より任命された初代院長マーサ・B・エカードにより創立され、今年で創立 93 年目を迎える。

創立以来、キリスト教学校として、学院聖句である「わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」（ヨハネ・10・10）に基づいたスクールモットーである「感恩奉仕」のもと、「生かされていることを神さまに感謝し、世と人に役立つ人」を目指した教育を行ってきた。それは、社会をそれぞれの場で支える「地の塩、世の光」となる人材を育てることでもある。

しかし学院を取り巻く状況は、厳しさを増している。少子化の進展に伴う競争の激化、2020 年度より開始される大学入試制度改革への対応、ますます多様化する教育ニーズや社会的ニーズへの対応、経常費補助金の減少傾向等、厳しい課題に直面している。

このような状況下にあって、学院全体で危機感を共有し、学生・生徒・園児はもとより保護者や地域社会の期待に応えるために、幼・中・高・大の連携、特に高大接続、そのための情報の共有化、教研などを通し、各学校の特徴を活かした教育改革に努力したいし、そのための教育環境の整備・充実にも努力したい。

また創立 100 周年及びそれ以降を見据えた中長期計画を立て、そのもとで学院の方向性を示していく必要がある。そのためにも創立 100 周年に向けた準備委員会を組織し、検討していきたい。

1. 創立 100 周年記念事業への取り組みを開始する
2. 2020 年度からの教育制度改革を受けた取り組みを行う。
 - a. 教職員協働による組織力の強化
 - ア. キリスト教教育の充実、キリスト教行事や礼拝への参加・協力
 - イ. 幼・中・高・大の連携の強化、特に高大接続の推進を進める。
 - ウ. FD・SD（教職員の専門的能力の向上）、研修等によるスキルアップ、アクティブラーニングへの取り組み。
 - b. 教育環境の整備
 - ア. ICT 教育の環境整備・老朽化に伴う改修
 - c. 広報活動を強化し、積極的な情報開示、情報の受発信
3. 働き方改革への取り組みを行う。
4. 募集力の強化に努める。
5. ステーク・ホルダーとの連携
 - a. 卒業生、保護者、同窓会、教会関係との連携
 - b. 学院モニター等による外部評価の実施

以上を方針としながら各部門の事業計画実現を目指す。

教学計画

2019 年度 大学事業計画

はじめに

「九州ルーテル学院大学ビジョン 2014」に掲げた基本理念（建学の精神“感恩奉仕”に則ったキリスト教精神を基盤にした 21 世紀型市民の育成等）のもと、今年度もさらなる教育の質の向上をめざす。特に「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」（平成 30 年 11 月中央教育審議会答申）で求められる高等教育の目指すべき姿（学修者本位の教育への転換）を実現していくため、学長のもとに次のような検討組織を整備し、本学の強み・特色を明確化し、さらに伸長させるための戦略（将来計画）を策定する。

- (1) 「九州ルーテル学院大学ビジョン 2014（中期計画）アクションプラン」における 6 年目の総括
 - ・アクションプラン 6 年目の進捗状況ヒアリングの実施
- (2) 次期アクションプラン策定に向けた取組
 - ・検討WGの活用
 - ①ビジョン 2021（仮称）の策定
 - ②第 3 期認証評価への対応
 - ③中長期施設整備計画の策定
 - ④広報・ブランディングの在り方

I. 教育・修学支援

1. 教育

- (1) 学修者本位の教育への転換
 - ・アクティブラーニングの推進
 - ・学修成果の可視化（ポートフォリオ導入等）
 - ・学生の声を授業改善に反映（FD・SD 委員会学生・教員教育改善検討会の活用）
- (2) 教育内容の充実
 - ・多様で柔軟な教育プログラム
 - ・ICTを活用した教育の促進
 - ・グローバル教育の推進（グローバルセンターの充実）
- (3) 教育成果の可視化
 - ・成績評価システムの改善
 - ・アセスメントポリシーの運用に係るデータの収集・分析
- (4) 全学的な教学マネジメントの確立
 - ・教学マネジメントに係る指針の策定

2. 修学支援

- (1) 「大学等における修学の支援に関する法律」(高等教育無償化)(平成32年4月1日施行予定)への対応および授業料減免・給付型奨学金の拡充
- (2) 障がい学生サポート体制の再構築
- (3) 学修に困難を抱える学生の修学支援(教育サポートスタッフ)

3. 入学者選抜

- (1) 高校との連携強化(授業参観、出前講座、高校訪問など)
- (2) 多様な学生(社会人の学び直しや外国人留学生等)の受入れ

II. 研究

「九州ルーテル学院大学 研究の推進に関する基本方針」に基づく研究活動の活性化

1. 研究ブランディング事業の促進

- (1) 本学版「研究ブランディング事業」の選定
本学の教育研究資源を活用し、自治体等と連携
 - ・学校等での教育問題解決のための相互協力体制の構築(菊池市)
 - ・子育て支援事業
 - ・障害のある児童・生徒への科学的教育事業など
- (2) (1)の実績を基に改革総合支援事業(タイプ3:地域連携)に申請

2. 研究成果の発信

- (1) 科学研究費補助金等の獲得強化
- (2) リサーチマップへの登録促進

III. 社会との連携および社会貢献

1. 大学間連携

- (1) 大学コンソーシアム熊本による改革総合支援事業(タイプ5:プラットフォーム型)への参画
- (2) ルーテル学院大学との連携

2. 地域との連携

- (1) 合志市、菊陽町、和水町、菊池市との連携協定による事業促進

IV. 管理・運営

1. 組織運営の改善

- (1) 広報および就職支援体制の強化

2. 財務内容の改善

(1) 予算編成・配分方針の策定

- ・大学の強み・特色を発揮できる教育研究、社会貢献活動に学長裁量経費を優先的に配分等

(2) 補助金等の獲得

- ・研究ブランディング事業の推進に呼応した補助金事業等への申請

3. 施設・設備の整備

(1) 施設・設備に関する学生アンケートの実施（中長期施設整備計画WG）

4. 教育研究組織の見直し

(1) 大学院人文学研究科障害心理学専攻の入学定員増（公認心理師養成）

(2) こころとそだちの臨床研究所（カウンセリングルーム「ジャニス」）

V. 自己点検・評価、認証評価

1. 「九州ルーテル学院大学ビジョン2014（中期計画）アクションプラン」の着実な実施

2. 大学認証評価を踏まえた教学事項の大学評価基準への適合

～学校教育法・私立学校教育法の一部改正（平成32年4月1日施行予定）への対応～

2019年度 大学附属黒髪乳児保育園 事業計画

1. 2019年度の目標

熊本市からの移管から3年が過ぎ、以下の本園の理念、方針をもう一度振り返り、初心に戻り2019年度の目標達成を目指す。

保育理念は以下の通りである。

1. 子どもと保護者に寄り添い1人ひとりを大切にします。
2. 子どもが安心して生活できる環境を提供します。
3. 子どもの人権を尊重した保育・教育を行います。

また、上記の理念を具現化するため、以下の基本方針で保育に取り組む。

1. 子どもが愛に包まれた安心・安全な生活を送ることができる環境を提供します。そして、園児一人ひとりが心と身体の調和の取れた発達を目指します。
2. 子どもの「やる気」を育てます。子どもを承認し励まし、さまざまな挑戦ができるような保育環境を提供し、生きる力を培います。
3. 家庭との連携を大切にします。保護者と保育園の結びつきを深めることで、子どもの情緒の安定を図り、保護者と保育園の共通理解の下で保育を行います。

以上の点について、職員それぞれがクレドを携帯し日々、自身の保育を省察しながら保育に取り組んでいる。

2. 園児数について

(ア) 新年度は 39 名（予定）でスタートする。昨年度は 47 名でのスタートであった。

(イ) 園児数の推移予測を以下に示す。

表1 園児数推（人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年度	47	48	49	51	54	51	51	51	5	54	54	54
2019年度 予測	39	41	43	44	45	47	50	50	50	50	50	50

① 0 歳児を中心に園児募集に取り組んでいく。目標数は 58 名である。（昨年度は入園希望があるものの、保育士不足のため園児の受け入れができなかった。）

② 3 歳児の卒園後の進路について、ルーテル学院幼稚園と連携を図りながら取り組んでいく。

3. 園内研修について

(ア) 保育士及びその他専門職の質の向上を図るために、体系的、継続的な園内研修を行う。

(イ) 園内研修の具体的な取組を以下に示す。（毎月 1 回全職員参加）

- ① 職能別研修・・・付属園理念・方針の共通理解を図るための研修、接遇・マナー研修、保育リスクマネジメント研修、保護者支援研修など
- ② 階層別研修・・・リーダー研修、中堅職員研修など
- ③ キリスト教保育研修・・・2020 年度からはじめる予定のキリスト教保育について職員による勉強会を行う予定である。

(ウ) 上記研修内容については、園内研修委員会（リーダーは主任保育士）が計画し実施する。

4. 保育内容について

(ア) 乳幼児保育の重要性を鑑み、現在の保育内容を再点検する。

(イ) 保育士 1 人 1 人が根拠のある保育実践ができるようにする。

(ウ) 保育士が同僚性を発揮し、共通理解のもとに保育実践ができるようにする。

2019年度 中学・高等学校 事業計画

1. 「生徒・保護者・地域に信頼される学校作りの強化」
2. 学校の基本目標・・・「来て良かった（在校生）」「やって良かった（保護者）」「出て良かった（卒業生）」「働いて良かった（教職員）」学校を目指す

3. 具体的事業計画

<施設面>

1. 施設計画

- (1) 教育環境の充実と整備
- (2) 100周年に向けての設備に関する将来計画の立案

<教学面>

1. 中学・高校共通

- (1) キリスト教教育の充実、
 - ① 「感恩奉仕」に示される建学の精神と教育理念をもとにしたキリスト教教育の充実をはかる。
 - ② 「キリスト教活動センター」の活動の活発化に努める。
- (2) 校務運営の充実
 - ① 教職員間で情報共有と行動連携を図り、組織力を高める。
 - ② ルーテルが抱える課題を明らかにし、解決するための教研を計画的に実施する。
- (3) 「2020年度大学入試改革・新学習指導要領」への対応と進路保障に取り組む。
 - ① 上記(2)の②であげた校内での「教研」や講演・研修会への参加に努める。
 - ② 生徒の参加型授業等を中心とした学習指導（教科指導）、進路指導、担任力など教師のスキルアップに努力する。
- (4) 生徒が将来社会を支える人材へと育つために、自治能力・表現力・対応力を高める。
 - ① 生徒がルールを守り、そのもとで自ら考え行動できる力を育む。
 - ② 探究心を持ち課題へ取り組むことのできる精神的たくましさを育む。
 - ③ 他と協力して課題に立ち向かうコミュニケーション力を育む。
- (5) いじめや特別支援教育の充実に更に努力する。
 - ① いじめ事案等には、早急に適切な対応を図り、その防止のためにも他への思いやりの心を育てるよう努力する。
 - ② 発達障がいなどの特別な支援への組織的取り組みを行う。
 - ③ 不登校などによる進路変更への対策を強化する。
- (6) 生徒募集活動の強化を図る
 - ① 総合コース、特進コースや芸術コース等の教育内容を実態に即して見直し、生徒の満足度を高め、結果としての定員充足につなぐよう努力する。
 - ② 学院全体の教育を見直し、ルーテルらしい特色ある教育に取り組む。また募集活動にも力を入れる。
 - ③ ホームページ等の更新など外部への発信力を高める。
- (7) 国際交流プログラム等を充実させる。
 - ① 全州新興高等学校（韓国）：3月に研修旅行を実施。両校で教師交換の機会も検討する。
 - ② インマヌエル・カレッジ（豪州）・オークグローブ高校（米国ノースダコタ州）等との交換留学制度と短期研修の充実を図る。
 - ③ アメリカ・オーストラリア・韓国に加え、台湾の学校との交流も検討する。

- (8) 中高大の連携、高大接続へ具体的に取り組む
① 幼中高大の連携を具体的な教育プログラムを考え、具体的な取り組みを行う。
② 特に高大接続を具体的に取り組む。

2019年度 認定こども園 事業計画

I. 認定こども園 ルーテル学院幼稚園の保育教育目標

「神と人から愛され、ただしい、あかるく、げんきなこどもになろう」

目指す子どもの姿

- ① 神様を愛し、畏れる心を持つこども
- ② 心身ともに健康で、大切な一人であることを実感するこども
- ③ 遊びこむこども
- ④ 友だちと一緒にいきるこども
- ⑤ 感じたこと・思ったことを表現できるこども

目指す保育者・職員の姿

- ・ 神様に生かされていることを実感し、感謝する保育者、職員（礼拝の尊守）
- ・ 仕事に喜びと誇り・情熱を持つ保育者、職員
- ・ こどもと保護者を尊び、心から愛する保育者、職員
- ・ 意図的・継続的・反省的な働きをする職員
- ・ 協力し・学び・お互いに高めあう保育者、職員

II 2019年度重点保育・教育目標

- 1) 年 主題：『言葉に満たされて～ひびきあう～』

主題聖句：主の教えを愛し、その教えを昼も夜も口ずさむ人。その人は流れのほとりに
植えられた木。（詩編1編3節）

職員目標：『愛情を感じ、喜びと感謝をもって保育・教育に当たる。』

- 2) 乳幼児保育・教育の充実それぞれの発達・月齢・年齢に見合った育ちを丁寧に保障する。生活の中で様々な体験を保障し、次第に培われて成長するこども。
- 3) 遊びこむ子どもと環境
興味を持って主体的に関わりながら、充実感や満足感を味わうこども。
『保育教育要領』『キリスト教保育指針』を基に、領域や10の姿を明確に保育・教育を推進
- 4) 園内研修の計画と立案 【県私幼推奨の研修と実践、保育者の質を高める学びⅠ】
- 5) 「食育」を通して健康な体づくりを目指す。

III. 具体的な保育・教育計画と研修計画

- 1) 教職員の技能・経験・専門性を高める研修・キャリアアップ研修の計画の充実
分野別【乳児保育・人権学習・教育保育課程・理論・特別支援・食育アレルギー・保健

衛生・保護者支援・小学校との接続プログラム・キリスト教保育・保育実践・制度政策・危機管理と安全教育・マネジメント等】

- 2) 3歳未満児の豊かな育ちを保障する保育とは
- 3) 特別支援教育の充実と支援計画（特別支援コーディネーター）
- 4) キリスト教行事の推進と礼拝への招き（年間2～3回の家族礼拝と聖書の学び）
- 5) 生活習慣（食・睡眠・歯など）の確立と見直しの取り組み
- 6) 年齢に沿ったカリキュラムの充実と見直し
- 7) 食育の充実（畑・味噌作りの継続・こどもが学ぶ体の仕組み等）
- 8) 5歳児とアプローチカリキュラムの計画と反省

2019年度園児在籍数（予定） 【新入園児40名・進級児123名総数163名】

年 齢（号）・組名	新入園児	進級児	計	合計
0歳児（3号） つぼみ	2		2	2 (-1)
1歳児（〃） うめ	4	5	9	9
2歳児（〃） もも	2	12	14	19
子育て支援（2歳児）もも	4	1	5	
3歳児（2号） さくら・たんぽぽ	0	10	10	47
3歳児（1号）	25	12	37	
4歳児（2号） ばら・ゆり	0	13	13	41
4歳児（1号）	3	25	28	
5歳児（2号） きく・すみれ	0	13	13	45
5歳児（1号）	0	32	32	
合計	40	123	163	163

（定員180名）

2019 年度年長児の小学校との接続を見通したカリキュラム

	1 学期	2 学期	3 学期
目 標	生活する力 やってみる！	人と関わる力 一緒に！	意欲・創造 喜び
スタートカリキュラム 育てる力	身の自立！ ◎基本的な生活習慣(衣服の着脱・挨拶) ① 身の回りの始末所持品の管理 ② 食事・排泄	① 規範意識(してよいことと悪いことがわかる) ② 聞くことが出来る ③ 伝え合う	① 考 え る 力 自分の思ったこと、考えたこと ② 言葉 自分のことばで伝える力
ねらい 手だて	◎生活するうえで決まりを守ることが、楽しいことを知る。 ◎協同的な遊び	◎自分の事ばかりでなく、他の人の気持ちに気づく	◎学ぶ力と成功体験 知ることが楽しくなる経験を増やす
アプローチカリキュラム	◎生活の中で、衣・食・住のルールを知る。 ◎担任との関係 ◎運動や表現	◎友達との関係作り ◎けんかや仲直りの経験から、安心して過ごせる場を作る。	◎戸惑いや不安、緊張から解放し、生活や経験からの楽しい学びを生かす。 ◎学校への期待感 ◎楽しさや期待を味わい、進級する喜び。
キリスト教保育	マタイ 18 章 21 仲間を赦さない家来の話し	フィリピ 2 章 5 節 他人へのおもいやり	ヨハネ 10 章 イエスは良い羊飼いです
計画と活動	校区の方との交流	小学校の先生の訪問	・小学校訪問と交流学习体験。懇談会

法人運営計画

2019年度法人・事務部門 事業計画

『地域社会に根差した個性ある学校を目指す』

法人・事務部門の基本方針は、建学の精神「感恩奉仕」の理念をしっかりと受け止め、現場の実情に合わせて主体的に考え、互いに協力しながら、共通の目標に向かって実践していける人材の養成と体制づくりである。

一方、学校を取り巻く教育・経営環境は、少子化の進展や安定した財政基盤の確立、保護者や地域社会の要請への対応等、事務職員に求められる専門性や資質は益々高度化している。

2019年度は「地域社会に根差した個性ある学校を目指す」を共通スローガンとして、学生・生徒・園児の満足度を高め、保護者・地域社会の期待に応えるために、高い経営マインドや専門的業務知識、コミュニケーション力等を身に着けた人材の育成に取り組む。

具体的には共通目標と部署、個人ごとの目標を連動させ、P（計画）→D（実行）→C（評価）→A（改善）サイクルに沿って推進する。

<事務職員に求められる資質及び姿勢>

【求められる資質】（意識面）

- ① 建学の精神や教育理念についての深い理解と認識
- ② 教育事情や学校を取り巻く社会環境の変化と、それに伴う諸問題の認識
- ③ 費用対効果を意識した経営感覚

【求められる姿勢】（行動面）

- ① 環境変化に柔軟に対応できる改革の積極性
- ② 学院の意思決定を効率よく執行するための連携力
- ③ 創造的発想による課題解決力
- ④ 双方の考えを踏まえたコミュニケーション力（マネジメント力）
- ⑤ 目標達成の使命感

I. 学院共通目標

- (1) 予算目標の必達（部署目標）
- (2) 「働き方改革」の推進
 - ・意識変革、業務改善・効率化、時間外縮減、休日取得、体制作り等
 - ・個人目標として「業務改善・効率化」の具体策を設定する。

II. 2019年度目標の視点

1. 事務部門

(1) 時間管理を徹底するための方策…業務改善・効率化・管理体制

- a) 業務改善においては、「管理性」、「業務効率」、「業務品質」、「コストダウン」を切り口に最も重要な事柄を目標設定する。
- b) 時間管理体制については、事前申請ルールを徹底する。

(2) サービスの向上

各学校、各部署、各個人で、自分（たち）がサービスする相手を明確にして、どのサービスをどのように改善するか、目標を設定する。

- a) 学生／生徒／保護者へのサービス改善
- b) 教職員へのサービス改善
- c) 校友（卒業生、旧教職員など）へのサービス改善
- d) 安全・安心の向上
- e) 施設・設備の改善

(3) 職員に求められる資質及び姿勢の具現化

事務部門全体としては、「職員に求められる資質と姿勢」を持った人材を育成するために、教育体系に沿って研修を推進するが、特にSD（職員の資質・能力向上）への取り組みにより、専門性の高い職員の育成に注力していく。さらに中長期的には複数の業務領域における知識と経験を培い、バランスの取れた人材の育成に取り組んでいく。

(4) 目標を設定する上で、共通に重視していくこと

- a) 校友（卒業生、旧教職員）を大切にすること
- b) 部署内、部署間、学院内の交流・連携を促進すること
- c) ITを活用すること

2. 法人運営

(1) 経営基盤の強化

- ・中長期的な環境変化の予測に基づく経営の安定性と継続性の構築。

(2) 「学校法人制度の改善方策」への対応（学校法人制度改善検討小委員会）

- ・学校法人の自律的なガバナンスの改善・強化方策の検討。

(3) 積極的な情報公開の推進

- ・法人運営・活動の透明性の確保、学院ブランドの構築を目指す。

(4) ステークホルダー（学生・生徒・保護者、同窓生、教会、教職員等）との信頼関係とネットワークの構築

(5) 中長期計画に基づく施設・設備計画への取り組み。

- ・創立 100 周年に向けて、選択と集中による教育環境の整備に取り組む。

(6) 外部資金（補助金・寄付金）の獲得

2019年度 法人・事務部門各部署の活動目標

『地域に根差した個性ある学校を目指す』

1.

部署 方針	事務局長 安定した財政基盤の確立	学長補佐 根拠と手続き	大学事務長 根拠に基づいた業務
<p>【共通目標】</p> <p>1. 予算目標の必達</p> <p>2. 「働き方改革」の</p>	<p>【共通目標】</p> <p>1. 学院全体の基本金組入前収支差額目標：1億円</p> <p>2. 働き方改革の推進：時間外労働時間の縮減、年次有給休暇5日以上の取得、業務効率化</p> <p>【部署目標】</p> <p>1. 経営基盤の強化：中長期計画に基づく経営の安定性と継続性の構築</p> <p>2. 「学校法人制度の改善方策」への対応：経営ガバナンスの改善・強化方策の検討</p> <p>3. 積極的な情報公開の推進：法人運営・活動の透明性の確保、ルーテルブランドの構築</p> <p>4. 中長期計画に施設・設備の充実：選択と集中による設備・補修計画</p> <p>5. ステークホルダー（学生・生徒・保護者、同窓生、教会、教職員）とのネットワーク構築</p> <p>6. 学院創立100周年への対応：コンセプトに基づく目標の明確化と学院全体の協力体制の構築</p>	<p>目標：根拠と手続き (根拠に基づく発言・資料作りを心がける)</p> <p>具体的手段： ①規程の習熟度をあげて、事案に対応できる知識を高める。</p>	<p>1. 各部署の動きに気を配り、状況に応じた的確な対策を取る。</p> <p>2. 各部署間の連携を強める。</p> <p>3. 様々な業務に対し、根拠に基づいた対処ができるようになる。</p> <p>4. 外部資金の獲得に向け、取組みや実績を積み、そのために必要な根拠資料等の整備を進める。</p>

2019年度 法人・事務部門各部署の活動目標

『地域に根差した個性ある学校を目指す』

2.

部署 方針	大学 学務・入試センター 各自の力と知識を発揮したチームワーク	大学 教職・保育支援センター 開かれたセンターづくり	大学 募集広報 地域社会に根ざした広報
<p>【共通目標】</p> <p>1. 予算目標の必達</p> <p>2. 「働き方改革」の推進</p>	<p>気付いた職員が提案し、業務へ活かすことができるチームワークを目指す</p> <p>1. チームワーク</p> <p>①業務に対する複数者の理解</p> <p>②繁忙期において、特定職員へ業務が偏らないための配慮</p> <p>2. 業務の効率化</p> <p>①常態業務や毎年度同業務の見直しをおこなうことによる効率化の企図</p> <p>②計画的な休暇取得、および時間外勤務の事前申請の徹底</p> <p>③事務室内、書庫内、各自デスクの整理整頓</p> <p>3. マニュアル作成</p> <p>1. と2. に関連して、担当業務のマニュアルの作成</p> <p>4. 課題への対応</p> <p>①専門的知識を身につけた、業務に活かすことができる職員を目指す</p> <p>課題の提示→共有→検討→改善→解決→検証⇒よりよい結果へ</p>	<p>1. 新体制での確実な業務</p> <p>1月から職員2名体制になりセンターの担当業務も変更があったが、漏れなく滞りなく進めていきたい。2名でのより良い協力体制を検討していく。</p> <p>2. 連携部署としての意識を持つ</p> <p>①学生②学生の実習先である地域の学校、幼・保育施設等③担当教員④学内の他部署等との連携を丁寧に行う。特に実習先は学生の就職先でもあり、地域に根差した大学として相互理解や協力体制を深める。</p> <p>3. 教職、保育の新課程への対応に留意する</p> <p>旧課程から新課程への移行の時期であるため、学務と連携し、学生の学びに支障がないよう関係事項の情報収集、学生への情報提供など行う。</p>	<p>1 出願数3%増(16人増)：</p> <p>前年度大幅増加した中で更なる増は厳しいが意識して取り組む。</p> <p>①HPとWEB広報の改善・充実による認知度向上(方向性を4月まで決定し実践)</p> <p>②高校訪問の意識向上と内容の充実(教授会等で教職員の意識向上、持参広報紙等の充実)</p> <p>2 働き方の改善</p> <p>①残業等の事前申請の徹底(ルールであることを毎月の初めに徹底)</p> <p>②業務効率の改善(効率改善や費用対効果に係るミーティングを第1・第3月曜に実施)</p> <p>3 サービスの向上</p> <p>①高大連携の促進(大学キャンパス Visit&Try の成果向上)</p> <p>②できることの1増(今後の職業人として必要なITや語学力等の目指す能力を各自宣言)</p>

2019年度 法人・事務部門各部署の活動目標

『地域に根差した個性ある学校を目指す』

3.

部署 方針	大学 企画室	大学 学生支援センター
	学長のトップマネジメント（教学マネジメント）に関する的確な支援	学生を中心とした学生に寄り添う支援を目指す
<p>【共通目標】</p> <p>1. 予算目標の必達</p> <p>2. 「働き方改革」の推進</p>	<p>1. 学長のトップマネジメントに関する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 文部科学省等における教育改革等の施策・動向に関する情報、先行する私立大学の取組等を参考にしながら、学長室会のワーキンググループを活用して、次期ビジョン（素案）を策定し、提示する。 さらに、「学校法人制度の改善方策」の審議状況、2019年度中に改正予定の私立学校法等で求められる学長ガバナンス等、日本私立大学協会が憲章として整備予定の「私立大学版ガバナンスコード」等に関し、大学として対応すべき取組について洗い出しを行い、必要に応じ、組織体制や関係規程等の整備を行う。 <p>2. 大学基準協会による認証評価（2022年度受審）への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 学長室会において、引き続き、ビジョン2014の進捗管理を適切に行うとともに、各計画の進捗度を把握するための根拠資料等についてデータベースを作成し、管理する。これらの教育、研究等の活動状況を「ファクトブック（仮称）」として整理することにより、次期認証評価の際に求められる「基礎データ」として活用する。 併せて、これらのデータを積極的に学内外に公表し、本学の認知度の向上に努める。 <p>3. 教職員の教育改革・改善マインドの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 教学関係情報の積極的収集・提供とともに、上記1及び2の取組を通じて、教職員の改革・改善マインドを醸成する。 <p>4. 教育研究組織の改組（人文学研究科臨床心理学専攻の入学定員増）等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 人文学研究科障害心理学専攻に、公認心理師の国家試験の受験資格を得させるため、養成課程の開設を計画しており、そのためのニーズ（心理臨床学科の学生の進学ニーズ、病院等の採用ニーズ等）を調査している。これらを基に、文部科学省担当課への事前相談を行う。 <p>（前提として、研究科委員会、学長室会、教授会、理事会等での審議を経る予定）</p>	<p>1. 業務の精査を行う。</p> <p>学生、就職、グローバル、障がい学生サポートなど多岐にわたる業務を学生支援センター職員間で業務理解し、相互の支援体制を整える。</p> <p>2. 業務の見直し</p> <p>同じような書式が2種類あったり、分かりづらい書式があったり、提出場所、が不明確な書類などの整理、書式の簡略化、書式の統一を行う</p> <p>3. 学生に寄り添った支援を続ける。</p> <p>一人ひとりの学生に目を向け、支援が必要な学生がいらないか教職員一丸となって情報共有に努め、学生に寄り添った支援を行う</p> <p>4. 各業務の課題について情報共有するために、勉強会、ミーティングを充実したものとする。</p>

2019年度 法人・事務部門各部署の活動目標

『地域に根差した個性ある学校を目指す』

4.

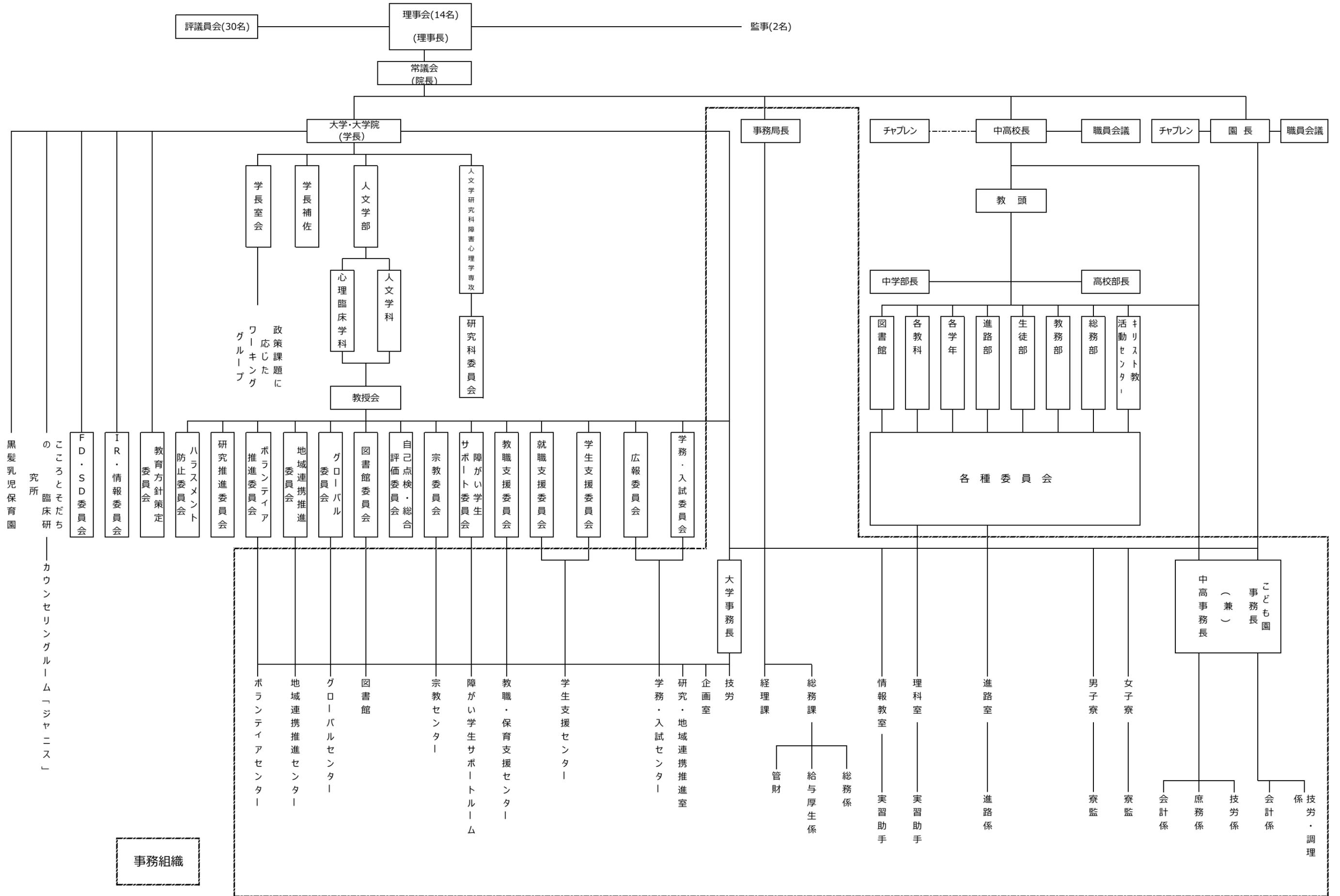
部署 方針	中学校・高校・こども園	法人事務局 経理課
<p>【共通目標】</p> <p>1. 予算目標の必達</p> <p>2. 「働き方改革」の推進</p>	<p>業務の相互理解と応援態勢の強化</p> <p>1. 内部統制監査で指摘を受けた項目の改善 事後購入がない様に、部署予算責任者に都度説明し改善に取り組む。前もって準備できるものは事務方が用意しておくなどの工夫をする。(事務長、経理担当者)</p> <p>2. 学校行事に関して、全員が当事者意識を持ち、外部からの問い合わせにどう回答できるのか、経費はどう動くのか予想することを身に着ける。</p> <p>3. 校舎設備維持管理の長期計画を立てる。</p> <p>4. 業務内容の理解と改善 各自が自分の業務を理解し、事務全体で業務の共通理解をする。必要に応じて事務分掌を検討し、業務の平準化を図る。 ・朝礼での業務の確認 ・週1回のミーティングの活用 ・柔軟な事務分掌の変更</p>	<p>業務の効率化を図りサービスの向上に繋げる</p> <p>1. 内部統制の徹底 →「稟議書」及び「出金購入伺」の事前申請の周知並びに検収印等の漏れがないようにチェック</p> <p>2. インターネットバンキングの利用促進 →キャッシュレス化による安全性の向上とスムーズな精算体制の確立</p> <p>3. 予算管理の徹底 →予算超過をなくす。正確な補正予算。月次での収支報告を行い時系列で予算執行状況を把握できるようにする。</p> <p>4. 年休消化の促進 →学院指定の5日間と個人指定の5日間、合計10日間の確実な取得</p> <p>5. 積極的な学院行事への参加</p>

2019年度 法人・事務部門各部署の活動目標

『地域に根差した個性ある学校を目指す』

5.

部署方針	法人事務局 総務課		
	管財	総務	給与厚生
【共通目標】 1. 予算目標の必達 2. 「働き方改革」の推進	◆学びやすい、過ごしやすい教育環境作り 1. 建物（施設）の整備 ・構築物の安全確認（耐久、クラック、剥離等） ・施設的环境整備（特に共有スペース） ・火災（地震）保険の業者選定 2. 環境美化 ・学院敷地内の除草、剪定、防除等の年間計画 ・けやき坂周辺の花植え替え（年3回） 3. 菊南・野々島グラウンドの施設状況確認 ・フィールドの状況 ・排水施設の状況 4. 経費削減と有効活用 ・蛍光灯、水銀灯をLED化することによる電力料の削減 ・新電力の見直しによる電力料の削減 ・業者見積書の内容チェック（総合評価） ・技術、資格、機械車両を活かした自校施工、整備 5. トイレファンドの有効利用 ・トイレ改修箇所の選定 ・安全性、デザイン、管理面の確認、見積依頼 6. 阿蘇山荘に関する改修計画・整備	1. 学内外に向けての情報発信の充実 ・HPupの頻度を上げる。(1~2回/週) ・『学院グッズ』の開発と展開 在校生や卒業生、企業との連携を図る 2. 理事会評議員会の運営 ・関連規程の整備と機能強化のためのサポート ・各資料を見直し、『見える化』を意識する。 3. 大学外部資金（補助金）獲得 4. リスク管理（管財担当と連携） ・安心、安全な環境作りの為、教職員同士の情報共有と連携を深める。	1. 教職員との連携と業務への理解 ・連絡、報告の徹底 ・重複チェックによりミスを未然に防ぎ、信頼ある職務体制を築く。 2. 担当業務の見直し・補完・簡素化による時間外勤務時間の短縮 3. 労務管理（労働時間・年休）の整備と推進 ・安全衛生委員会、労災の整備 ・学院の安心、安全な環境整備の検討 ①受動喫煙対策 ②メンタルヘルス等支援体制の整備
	○働きやすい、安心・安全な職場環境作り ①年休取得の促進の為の仕組み作りや情報発信 ②まずは総務課として、相互に協力し合い年休を取りやすい体制を整える ③労働時間や年休取得状況を把握し、健康管理を行う。 ④教職員の職場環境改善のため、相談窓口を確立する。 ○規程の整備 ①法令改正や学院体制の見直しへの対応 ②「学校法人の改善方策」対応		



法人組織（案）

2019（平成31）年4月1日現在

	理事会		評議員会
理事長	福田 邦子	評議員	福田 邦子
理事	内村 公春	評議員	内村 公春
理事	広渡 純子	評議員	広渡 純子
理事	尾田 明子	評議員	尾田 明子
理事	百家 裕幸	評議員	百家 裕幸
理事	坂根 信義	評議員	坂根 信義
理事	潮谷 愛一	評議員	潮谷 愛一
理事	角本 浩	評議員	角本 浩
理事	長岡 立一郎	評議員	長岡 立一郎
理事	山口 初子	評議員	山口 初子
理事	九谷 晶子	評議員	栗原 裕子
理事	谷口 美樹	評議員	金戸 清高
理事	石原 靖也	評議員	西山 慎一郎
理事	市川 一宏	評議員	濱崎 庸一
	以上 14名	評議員	松本 充右
		評議員	谷 美和
		評議員	谷口 美樹
監事	河崎 隆夫	評議員	八田 智子
監事	寺本 行義	評議員	九谷 晶子
	以上 2名	評議員	村本 聡子
		評議員	森本 和幸
		評議員	永江 浩子
		評議員	福田 丈人
		評議員	山口 美和
		評議員	石原 靖也
		評議員	市川 一宏
		評議員	梅元 昭宏
		評議員	俵 恭子
		評議員	松尾 正一
		評議員	米澤 房朝
			以上 30名

教 職 員 組 織

2019（平成31）年4月1日 予想

大学付属 黒髪乳児保育園	園長(兼務)	1名	調理員	1名
	主任	1名	非常勤調理員	3名
	保育士	3名	臨採看護師	1名
	臨採保育士	1名	非常勤看護師	1名
	嘱託保育士	4名		
	非常勤保育士	3名		
認定こども園 ルーテル学院幼稚園	園長	1名	事務長	1名 (兼)
	チャブレン	1名 (兼)	体育	2名 (兼)
	主幹保育教諭	1名	英語	1名 (兼)
	保育教諭	9名	栄養士	1名
	非常勤保育教諭	14名	非常勤調理員	4名
	非常勤保育助手	1名	嘱託職員	2名
	非常勤看護師	2名		
ルーテル学院中学校	部長	1名	事務職員	0名
	教諭	9名	嘱託職員	3名
	臨採教諭	2名		
	非常勤講師	6名		
	非常勤教諭助手	6名		
ルーテル学院高等学校	校長	1名	事務長	1名
	チャブレン	1名	事務職員	3名
	教頭	1名	嘱託職員	2名
	部長	1名	実習助手	1名
	教諭	44名	技労職員	2名
	司書教諭	1名	寮嘱託職員	2名
	養護教諭	2名	寮非常勤職員	4名
	専任講師 (J3)	3名	非常勤職員	2名
	臨採教諭	6名	派遣社員	3名
	非常勤講師	27名		
九州ルーテル学院大学 人文学部	学長	1名	学長補佐	1名
	チャブレン	1名	事務長	1名
	教授	16名 (学長を含む)	事務職員	10名
	准教授	17名	技労職員	1名
	講師	3名 (チャブレンを含む)	非常勤職員	14名
	兼任講師	67名 (大学院兼任3名含む)	臨採職員	1名
研究科	教授	0名	兼任講師	9名
	兼任講師	7名 (学部兼任1名含む)		
法人事務局	事務局長	1名	事務職員	7名
	嘱託職員	1名	非常勤職員	2名

園児・生徒・学生数

2019（平成31）年4月1日 予想

学校	学年	クラス数	園児・生徒・学生数（内男子数）		
大学附属黒髪 乳児保育園	0歳児（つぼみ）	1	3 (1)		
	1歳児（すみれ）	1	13 (6)		
	2歳児（たんぼぼ）	1	16 (7)		
	3歳児（さくら）	1	7 (3)		
	計	4	39 (17)		
認定こども園 ルーテル学院 幼稚園	0歳児	1	2 0		
	1歳児	1	9 (5)		
	2歳児	1	19 (7)		
	3歳児	2	47 (27)		
	4歳児	2	41 (20)		
	5歳児	2	45 (23)		
	計	9	163 (82)		
ルーテル学院 中学校	1年	3	80 (51)		
	2年	2	76 (46)		
	3年	2	56 (27)		
	計	7	212 (124)		
ルーテル学院 高等学校	1年	8	320 (112)		
	2年	9	323 (214)		
	3年	8	301 (115)		
	計	25	944 (441)		
大学			人文学科	心理臨床学科	計
	1年	8	100	75	175
	2年	8	107	73	180
	3年	9	108	76	184
	4年	9	87	79	166
	計	34	402	303	705
	長期履修学生		0	5	5
	科目等履修生				6
	研究生				0
	大学院				12

各学校事業及び行事予定 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	九州ルーテル学院大学	ルーテル学院中学・高等学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式、1年次生保護者会 ・新入生オリエンテーション ・フレッシュマンキャンプ(新入生歓迎オリエンテーション) ・前期開講 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女入寮式 ・始業式 ・入学式 ・新入生オリエンテーション ・中学1年生修養会 ・中学歓迎遠足 ・防災訓練 ・奨学生激励会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・チャペルゲストマンズ ・学生支援懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会 ・内科検診 ・PTA総会、懇親会 ・中学授業参観 ・高校3年生進路説明会 ・高校総体・総文(5/31～)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・大学説明会 ・新入生歓迎スポーツデー 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校前期中間考査 ・GTEC受験
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアム進学ガイダンスセミナー ・公開講座 ・第1回オープンキャンパス 	<ul style="list-style-type: none"> ・高1、高2年生カリキュラム説明会 ・高校第1回オープンキャンパス ・キリスト教伝道講演 ・大掃除、全校集会 ・中学サマースクール
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期定期試験・まとめ期間 ・大学院説明会 ・リカレント教育 ・保育コース合宿 ・教員免許状更新講習 ・公開講座 ・FD・SD研修会 ・第2回オープンキャンパス ・追・再試験 ・長期履修学生入学試験 ・異文化体験学修 	<ul style="list-style-type: none"> ・私学教育一斉研修 ・大掃除、全校集会 ・留学制度説明会 ・ミッションクリーン・地区保護者会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーキャンプ ・秋季卒業式・入学式 ・公開講座 ・ペプ・ラリー ・和水キャンプ ・後期開講 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校第2回オープンキャンパス ・中学体験学習 ・高校前期末考査 ・GTEC受験
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開講座 ・大学院入学試験 ・第3回オープンキャンパス(個別相談会) ・こどもフェスティバル 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋期休業 ・創立記念日 ・後期始業の辞 ・学院祭 ・ルーテル学院音楽会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・フィリア祭 ・ホームカミングデー ・指定校・併設校入学試験 ・公開講座 ・授業料全額免除、公募推薦入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームカミングデー ・中学、高校入試直前アドバイス会 ・後期中間考査
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝 ・クリスマス祝会 ・プレ・カレッジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除、全校集会 ・クリスマス礼拝、キャロリング ・中学入試(専願・奨学前期) ・中学2年研修旅行
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試センター試験 ・後期試験・まとめ期間 	<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除、全校集会 ・中学入試(一般前期・奨学後期) ・高校入試(専願・奨学、実技) ・高校1年研修旅行
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・一般I期、外国人、編入学試験 ・卒業研究発表 ・大学入試センター試験利用入試 ・学位論文最終試験 ・追・再試験 ・異文化体験学修 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学入試(一般後期) ・高校入試(一般) ・中学入学者登校日 ・後期期末考査 ・高校卒業礼拝 ・高校卒業式
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・一般II期、長期履修学生入学試験 ・学位授与式、Farewell Party ・兼任講師懇談会 ・合格者招集日 ・在学生オリエンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校2年生修養会 ・中学卒業礼拝・卒業式 ・大掃除、全校集会 ・高校入学者登校日 ・芸術コース演奏会 ・中学3年生語学研修旅行 ・アメリカ研修旅行、韓国研修旅行

各学校事業及び行事予定 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	認定こども園ルーテル学院幼稚園	大学付属黒髪乳児保育園	学院全体
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式 ・新学期始園式 ・入園感謝親子礼拝 ・お見知り遠足 ・誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学期始園式 ・入園式 ・お見知り遠足 ・保護者会 ・お誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付式 ・新任教職員オリエンテーション ・学院歓迎会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・母の日礼拝 ・こひつじの会 (未就園児) ・誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面接 ・内科検診 ・なかよし保育 	<ul style="list-style-type: none"> ・決算会計監査 ・理事会 ・評議員会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観 ・花の日礼拝 ・誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観 ・なかよし保育 ・プール開き 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期終園式 ・誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕、夏祭り (地域老人会との交流) ・なかよし保育 ・お誕生会 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・夏期保育 ・長期休暇預かり保育 ・8月、9月誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし保育 ・プール納め ・お誕生会 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始園式 ・祖父母お祝い会 	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母との集い ・なかよし保育 ・お誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会 ・評議員会 (必要に応じて招集)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・バザー (保護者会主催) ・誕生会 ・芋ほり遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・なかよし保育 ・こどもフェスティバル参加 ・お誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・創立記念日・学院研修会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度入園児願書受付 ・お泊り保育 ・子ども祝福礼拝 ・収穫感謝礼拝 ・誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労感謝訪問 ・芋ほり ・団子汁会 (地域老人会との交流) ・内科検診 ・収穫感謝礼拝 ・なかよし保育 ・子ども祝福礼拝 ・お誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームカミングデー
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期終園式 ・誕生会 ・クリスマス礼拝 ・年長組家族礼拝 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会 ・歯科検診 ・なかよし保育 ・老人会との交流会 ・お誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会 ・評議員会 (必要に応じて招集) ・教職員クリスマス礼拝 ・全職員研修会 ・クリスマスイルミネーション点灯式
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始園式 ・年中組家族礼拝 ・誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし保育 ・お誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員新年礼拝
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観 (だご汁) ・観劇会 ・もも・年少組家族礼拝 ・誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・豆まき ・なかよし保育 ・保育参加 ・お誕生会 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園感謝礼拝 (室園教会) ・卒園式 ・終園式 ・誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り ・お誕生会 ・なかよし保育 ・お別れパーティー ・卒園式 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会 ・評議員会

定例行事

- ・避難訓練 (毎月)
- ・体重測定 (毎月)
- ・体重測定 (毎月)

定例行事

- ・避難訓練 (毎月)
- ・体重測定 (毎月)